

静岡文化芸術大学 非常勤講師の公募

1	概要	デザイン学部デザイン学科 非常勤講師 公募
2	職名・人員	非常勤講師 1名
3	雇用期間	1年（本学において教育上必要な場合は、1年以内を単位として契約を更新することがある）
4	担当科目	・科目名：「科学技術論」 ・科目区分：全学科目「教養」 ・講義区分：講義科目2単位 ・開講年次：1年次 ・科目概要：現代社会のさまざまなシステムやモノには科学技術が不可欠であることを前提に、科学技術が広範かつ深遠な影響を人間社会に与えていることの認識を深めて、現実の科学技術を正しく理解する力を養うことを目的とする。今日に至る科学技術の発達経緯を概観する中で、現代の科学技術の特質・潮流を考察するとともに、科学技術と社会との関係の中で生ずる摩擦や諸問題など、科学技術を取り巻くさまざまな環境変化について検討する。 ・参 考：令和7年度まで集中講義（対面授業）で開講しているため、次項5・6で示す開講時期・授業方法とは異なることに留意すること ① 令和7年度シラバス 本学Webサイトトップ→右上「メニュー」から「学部・大学院」→「カリキュラム」にある「シラバス」→シラバス検索画面で講義名称 ② 履修者数（直近3年間） R7：141 R6：161 R5：162
5	開講時期及び授業回数	・前期授業期間（15週間）（時間割配置：木曜日6限 18：00～19：30 ※1） ※前期授業期間 令和8年4月13日（月）～7月29日（水） ・授業回数 週1コマ 合計15コマ ・成績評価も上記コマの中で行う
6	授業方法	・授業は「オンデマンド型（非同期型）遠隔授業」（※2）で行う ・授業における出欠管理、資料配付、課題の提出・回収及び成績評価入力、本学指定のLMS（学習管理システム：manaba）等のシステムにより行う
7	謝金等	・授業1コマあたり10,600円 ※ゲストスピーカーを招へいた場合の謝金の支払いはしない ※本学敷地内での授業でないため、交通費・宿泊費等の支給はしない
8	応募資格	次の条件を満たしている者 (1)修士以上の学位を有すること、もしくは、これに準ずる十分な学術的業績を有していること (2)次のいずれかに該当し、「4 担当科目」の科目概要に則した授業ができる者 ・科学社会学・科学技術史に関する教育または研究実績を有する者 ・当該科目と同様の授業を高等教育機関において担当した実績がある者 (3)採用予定日現在で65歳未満の者
9	採用予定日	令和8年4月1日
10	応募書類	非常勤講師候補者履歴・業績書（写真貼付） ※PDFファイルにして「12 応募書類提出先」にメールに添付し送付 ※ファイル名を「科学技術論（氏名）」とすること

11	応募締切	令和7年12月26日 期限を過ぎて届いたものは受領しない
12	応募書類 提出先	「10 応募書類」のPDFファイルを添付し下記宛先にメールで送付すること ・メール件名：「科学技術論 応募」 ・宛 先：教務・学生室（大村） ・E-mail: kyogaku@suac.ac.jp ※メール・応募書類を確認後、担当からその旨返信をする
13	選考方法等	・一次選考（書類審査） 提出書類による書類選考を行い、合格者には二次選考の案内をメールにて行う。 ・二次選考（ヒアリング） 書類審査合格者には、Zoomを使用したオンラインによるヒアリングを行う。 ・二次選考合格者は本学役員会での承認後、非常勤講師採用となる。 ※業績の追加提出を求めることがある。
14	問合せ先	静岡文化芸術大学事務局 学務部 教務・学生室（大村） TEL: 053-457-6114 FAX: 053-457-6123 E-mail: kyogaku@suac.ac.jp URL: https://www.suac.ac.jp/

（※1）時間割配置について

履修登録上「前期 木曜日6限」の授業として学生は登録するが、今回担当科目における※2の授業方法においては、授業の配信をその時間帯内に限り行うものではない。

（※2）オンデマンド型（非同期型）遠隔授業について

オンデマンド型（非同期型）遠隔授業同時（リアルタイム）ではなく双方向に行われる遠隔授業の形式。授業担当教員は、インターネットとLMS等を利用して、文書、図画、写真、音声、動画などの授業資料を学生に配布し、それに基づいた小テストやレポート等の課題、演習、意見交換、ノート作成などの学修活動を組み合わせて授業を実施する。授業担当教員は、毎回の授業ごとに、課題への回答、添削指導、質疑応答等による十分な指導を行う。

学生は、WEB上で動画等を視聴し、授業担当教員の指示に沿って学習する。また、課題等をLMSのレポート機能等により提出する。必要に応じて、LMSの掲示板機能等の指示された方法で教員への質問等を行う（映像などの資料を提示するのみ、あるいは単に教科書を読ませて質疑応答をするような授業は、オンデマンド型遠隔授業として不適）。

【授業の実施モデル】

次の①・②いずれかの授業モデルにて遠隔授業を実施する。

①オンデマンド型遠隔授業A

事前に授業を実施、録画し、その動画を配信するオンデマンド型遠隔授業

②オンデマンド型遠隔授業B

パワーポイントのスライドに音声を挿入、動画を作成し、その動画を配信